

FROM 田・計・細・特許 06-6845-8031

2005年10月12日(木) 12:29/12:28/文書番号: 06-6845-8031 P2005

整理番号: 414005001 発送番号: 286391 発送日: 平成17年 7月28日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2002-191682
起案日	平成17年 7月15日
特許庁審査官	大塚 良平 3780 6800
特許出願人代理人	吉田 茂明(外 2名) 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

1-1. 請求項1

(1) 「ケーブルを案内する構造」について

所定の移動方向に沿って相対移動するケーブルを案内するための構造が不明である。さらに、複数のリンク部材がケーブルをどのように案内しているかのケーブルガイドの構成も不明である。

(2) 「所定の移動方向と略垂直な上下方向」について

請求項1には「所定の移動方向」と記載しているが、所定の移動がどのような移動なのか不明であるために、「略垂直な上下方向」も不明である。仮に所定の移動が3次元的な移動をするのであれば、「略垂直な上下方向」は意味不明である。

よって、請求項1に係る発明は明確でない。

2. この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許

BEST AVAILABLE COPY

FROM 部・計・細部 06-6945-8031

2005年10月12日(水) 12:29/12:28/文部省6703153880 P 3

整理番号:414005001 発送番号:286391 発送日:平成17年 7月26日 2
を受けることができない。また、この出願の下記の請求項に係る発明は、その出
願前日本国内又は外国において頒布された下記のパ行物に記載された発明又は電
気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発
明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることが
できたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることが
できない。

記 (引用文献等については引用文献等一覽参照)

2-1. 公知刊行物(引用文献)に記載された発明

本願の出願前に頒布された刊行物である特開2003-25850(以下、「引
用文献1」という)には、次の発明が記載されている。

2-2. 「引用文献1」の認定

引用文献1には次の発明が開示されている。

「相対移動する車体とスライドドアとの間に配索されるハーネスと、連結された
複数のピースによって構成され、前記ハーネスを収容する渡り部ハーネスガイド
と、前記車体側に固定され、前記渡り部ハーネスガイドの一端部に連結された車
体側支持軸を支持するブラケットと、前記スライドドア側に設けられ、前記渡り
部ハーネスガイドの他端部に連結されたドア側支持軸を支持する連結部材とを備
え、前記ブラケット及び前記連結部材が、前記車体側支持軸及び前記ドア側支持
軸を、垂直軸回りに回転するように連結していることを特徴とするスライドドア
給電構造。」

3. 本願の請求項1から5について

3-1. 本願の請求項1から5と引用文献1の相違点

本願の第2固定部材は、「第2部材側に固定されている」のに対して、引用文献
1の連結部材は、「スライドガイドに支持されているが、固定されていない」と
いう点で相違している。(以下、「相違点1」とする。)

3-2. 相違点1の判断

引用文献1において連結部材をスライドドアに固定し、車体とスライドドアの相
対移動に対して、渡り部ハーネスガイドのみでハーネスを遠送させることは、当
業者が容易になし得る事項である。

3-3. 結論

従って、本願の請求項1から5に記載された発明は、引用文献1に記載された発
明に基いて、当業者が容易に発明することができたものであるから、特許法第2
9条第1項3号の規定により、特許を受けることができない。

BEST AVAILABLE COPY

FROM 吉田・計・細野事務所 06-8945-8031

2005年10月12日(水) 12:28/審判12:28/文書番号8703153680 P 4

整理番号:414005001 発送番号:266391 発送日:平成17年 7月26日 3/8

引用文献等一覧

1.特開2003-26850号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 H02G11/00 B60J5/06
 B60R16/02 H02G3/04
- DB名
- ・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

BEST AVAILABLE COPY

RECEIVED
CENTRAL FAX CENTER

OCT 13 2005

1

Please note that the laid-open disclosure date of the following application JP2003-25850 (January 29, 2003) is between priority date of the present invention, application No. 10/608,694 (July 1, 2002) and the filing date in U.S. (June 27, 2003).

- 5 (1) Japanese Patent Application Laid-Open No. 2003-25850
"SLIDE DOOR FEEDING STRUCTURE"

The following is an English translation of an extract of the above application.

- 10 It is an object of the present invention to provide a slide door feeding structure capable of solving a conventional problem.

- A crossing part harness guide 13 comprising a plurality of pieces 12 is provided between a slide door and a car body 11. At one end of the crossing part harness guide 13, a car-body-side supporting shaft 21 is provided to be rotatably supported by a bracket 22
15 fixed to the car body 11. At the other end of the crossing part harness guide 13, a door-side supporting shaft 31 is provided to be rotatably supported by a connecting member 32. A groove 33 of the connecting member 32 is slidably engaged with a projection of a slide guide member provided at the slide door. A harness 14 extending from the car body 11 to the slide door is inserted into the crossing part harness guide 13 through the
20 center of the car-body-side supporting shaft 21 and thereafter, is extended from the center of the door-side supporting shaft 31 for wiring.

BEST AVAILABLE COPY